

厚生労働省若手プロジェクト

現状把握力強化

ひと、暮らし、みらいのために

Team E

プロジェクトの進め方等

- チーム構成

大臣官房統計情報部、医政局、医薬食品局、労働基準局安全衛生部、職業安定局からの有志6名。

- プロジェクトの進め方

週3回から週5回程度。

昼休みを中心に各自が準備した資料等を元に議論。

- インタビューに協力いただいた企業等

McKinsey&Company、The Boston Consulting Group 他

現状把握力の定義

- 厚生労働省像

「国民一人ひとりの悩みを共有し、解決に導く省」

政務三役のビジョン
厚生労働省のビジョン

悩みの抽出
(情報収集)

共有
(分析)

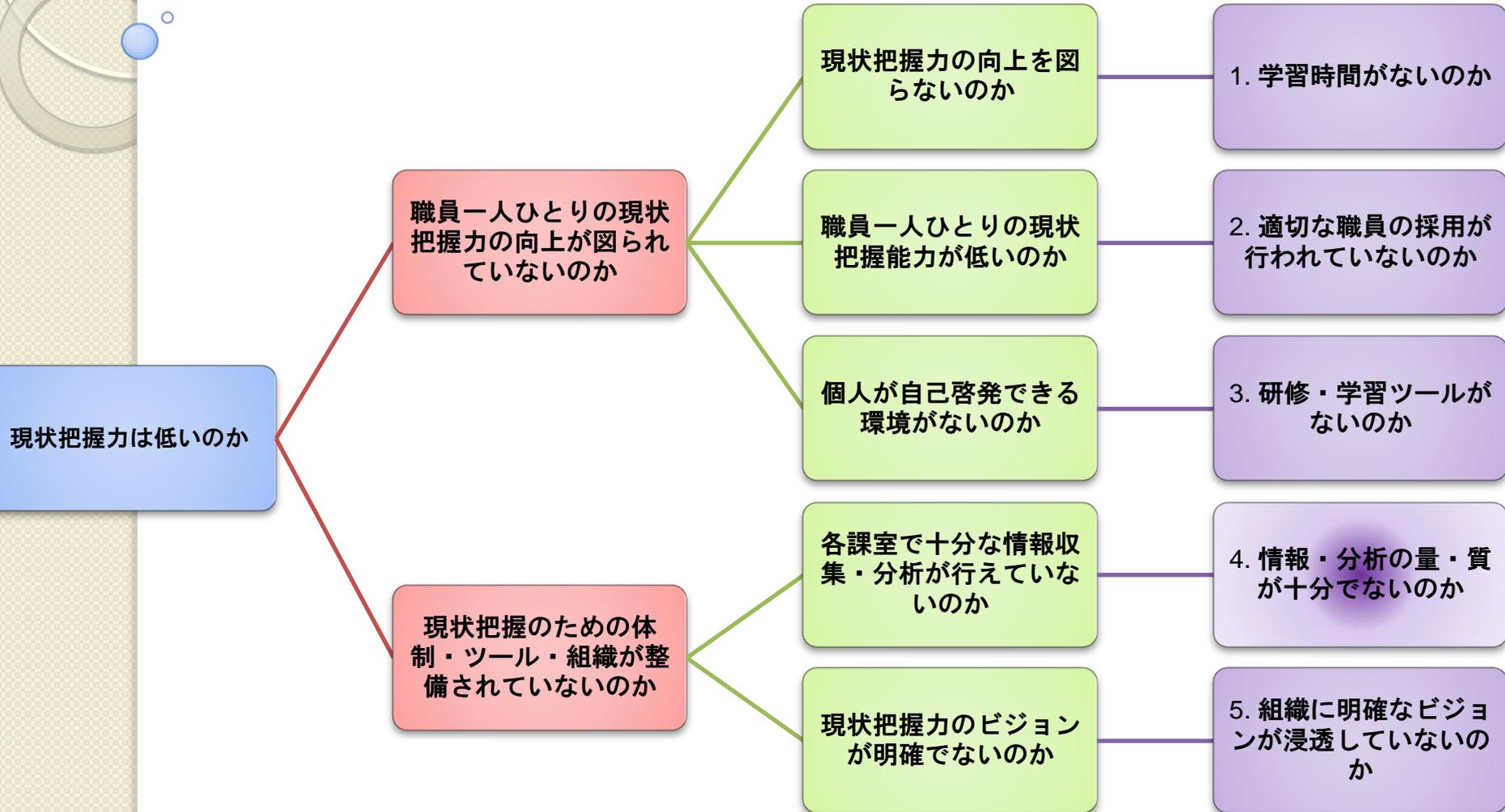
解決
(立案・実施)

検証
(政策評価)

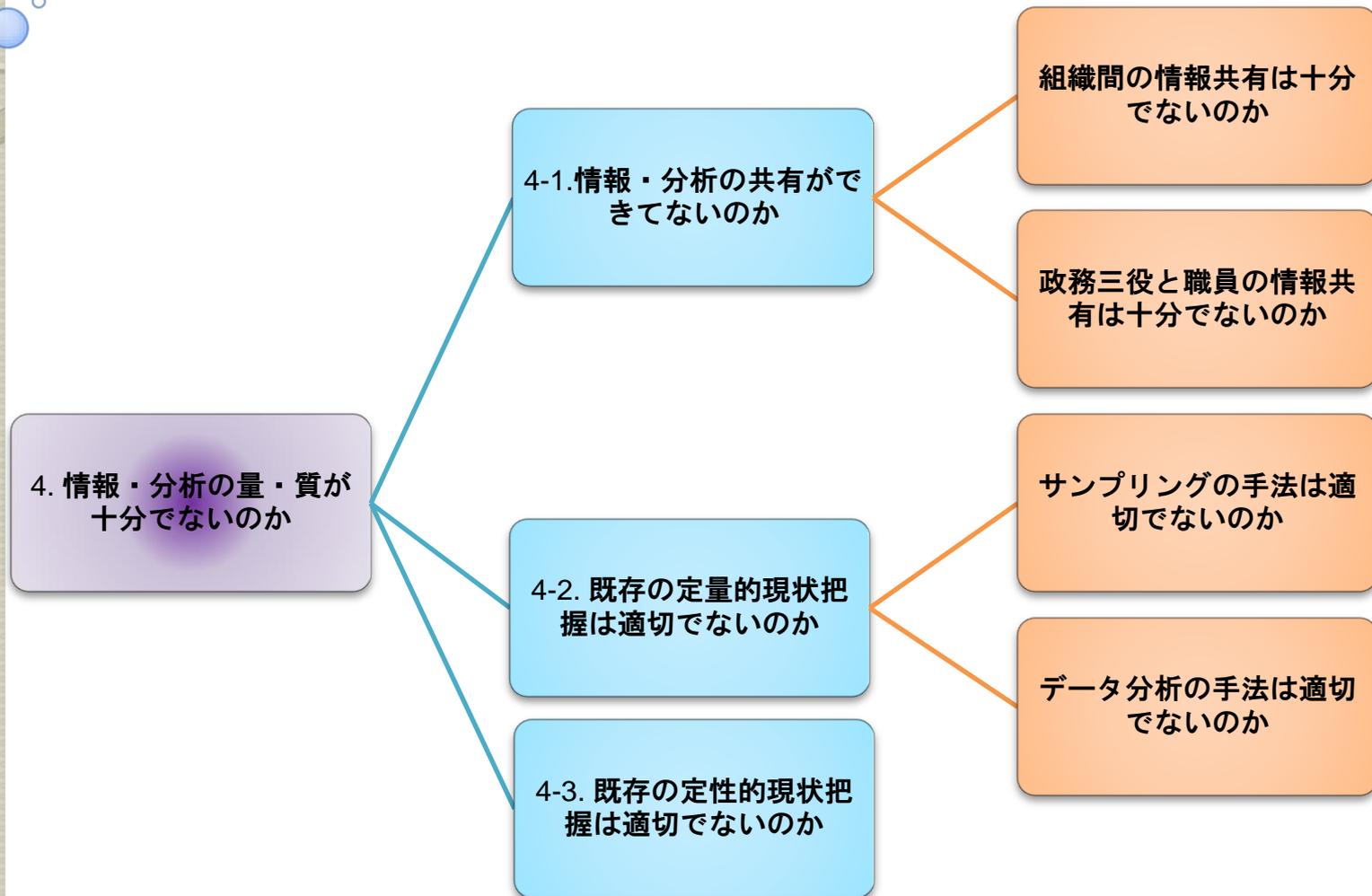
- 現状把握力の定義

「適切なタイミングで国民の真のニーズを的確にとらえた政策の企画立案及び実行するために必要な現状把握に関する組織力」

現状把握力向上の検討のためのロジックツリー



情報・分析の量・質の向上の検討のためのロジックツリー



提言

現状把握力は低いのか

職員一人ひとりの現状把握力の向上が図られていないのか

現状把握のための体制・ツール・組織が整備されていないのか

- ・ 個人が学習しやすい環境整備
- ・ 研修方法・研修内容の改善



現状把握力向上のための機能の充実



- ・ 情報・分析の量・質の充実化
- ・ 情報・分析の共有化
- ・ 定量分析・定性分析の充実化
- ・ 政務三役のビジョンと職員のビジョンの共有化

職員一人ひとりが現状把握力を高める

提言1：個人が学習しやすい環境整備

- 現状及び問題点

- 日常業務における環境・機会の不足

- 学ぶ環境・機会の不足

- 時間的制約、学習方法の確立、学習時間の確保等

- 活動範囲が職場に限定されることによる機会の不足

- 世代間の人脈の共有・幅広い視点が持ちづらい環境

- 解決策

- 日常業務における環境・機会の不足の**改善**

- (学習時間、現場の方との意見交換・コミュニティー活動への参加等)

- 学ぶ環境・機会の不足の**改善**

- ・職員ひとり一人の業務改善・スケジュール管理の徹底、管理職の配慮

- 活動範囲が職場に限定されることによる機会の不足の**改善**

- ・現場で働く方との座談会の開催、コミュニティー活動への参加の促進

⇒ 現状把握力向上とともに、顔の見える厚生労働省、現場との信頼の構築

職員一人ひとりが現状把握力を高める

提言2：研修方法・研修内容の改善

● 現状及び問題点

- 研修方法・研修内容・周知方法の曖昧さ
 - 研修方法の広がり不足
現場派遣研修機会の不足、限定されがちな現場研修受講
 - 研修内容の曖昧さ
研修の効果・到達点の曖昧さ、必要な者の未受講、研修の評価不足
 - 各部局における異なった周知方法
研修の開催を知らない職員

● 解決策

- 研修方法・研修内容・周知方法の曖昧さの**改善**
 - 研修方法の広がり不足の**改善**
 - 希望する全ての職員への現場研修機会の付与
 - 研修内容の曖昧さの**改善**
 - 研修の目標・目的の明示、研修内容の検証・効果の数値化
 - 各部局における異なった周知方法の**改善**
 - 周知方法の統一、職員一人ひとりのアクセスの向上

現状把握力を高めるための体制・ツール・組織を整備する

提言3：情報・分析の量・質の充実化

● 現状及び問題点

○ 情報・分析の量・質の確保の必要性

- 厚生労働行政に対する多種多様なニーズへの対応
十分な情報・分析の量・質の必要性、意図的でないバイアス
- 情報・分析の際の各担当者の能力への依存
未訓練の担当者の存在、担当者の大きな負担

● 解決策

○ 情報・分析の量・質の**充実化**

- 厚生労働行政に対する多種多様なニーズへの対応の**改善**
- 情報・分析の際の各担当者の能力への依存の**改善**
 - 得られた情報を正しく分析できるスタッフの確保 ex.) 研修の活用
 - 適切な情報・分析が共有されるシステムの構築 ex.) ナレッジマネジメント
 - 必要な情報・分析のためのアウトソーシングの活用 ex) ハローワーク調査
 - 十分な情報・分析の量・質を確保するシステムの整備 ex) 統計、体制整備

現状把握力を高めるための体制・ツール・組織を整備する

提言4：情報・分析の共有化

● 現状及び問題点

- 情報・分析の共有によるメリット享受の不足
 - 省内の部局・課室間における効率的な情報・分析の共有方法の未確立
紙・メール、共同支援システム等の活用、担当者だけの情報、引継ぎ
 - 政務三役との情報・分析の共有方法の未確立
直接・間接的なレク等のタイミング確保・判断の困難、認識等のずれの危険

● 解決策

- 情報・分析の共有によるメリット享受不足の**改善**
 - 省内の部局・課室間における効率的な情報・分析の共有方法の**構築**
 - ・ ナレッジマネジメントシステム（知識やノウハウを共有するシステム）の構築
 - ・ 法改正の経緯・予算要求から成立の過程等の情報共有
 - 政務三役との情報・分析の共有方法の**構築**
 - ・ 数値化された最新データ等をオンライン表示するシステム構築
 - ・ 政務三役とその他職員の短時間のコミュニケーション、認識の確認方法確立

現状把握力を高めるための体制・ツール・組織を整備する

提言5：定量分析・定性分析の充実化

● 現状及び問題点

- 定量分析・定性分析手法の向上によるメリット享受の不足
 - 統計データの生成・見方等の実践的知識を得るための機会の不足
行政施策に関する説明責任への社会の要請、施策実施の定量的根拠
 - 行政モニター、現地調査、メールマガジン等のメリット享受不足
国民一人ひとりの悩みの共有、国民の声等定性的データの収集

● 解決策

- 定量分析・定性分析手法の向上によるメリット享受不足の**改善**
 - 統計データの生成・見方等の実践的知識を得るための機会の不足の**改善**
研修等により定量分析の手法の充実・向上
 - 行政モニター、現地調査、メールマガジン等のメリット享受不足の**改善**
定性的情報の手法等を見直し、政務三役の声、アンケートの活用

現状把握力を高めるための体制・ツール・組織を整備する

提言6：政務三役のビジョンと職員のビジョンの共有化

- 現状

キャッチフレーズ： 「ひと、くらし、みらいのために」

平成22年度厚生労働省の目標：

既存の統計は正しく実態を反映しているのか。先進国と比較して日本の置かれた状況を正確に把握しているか。現場によく足を運んでいるか。現実にどのような政策が求められているのか。声なき声を想像して聞く力があるか

仕事の取り組み姿勢：

現場、現状把握力を高め、生の情報、最新の情報で考える努力をすること。それにより、社会の変化等についての感度を高めていくこと。固定観念にとらわれず、フレキシブルな吸収力を持つこと

- 問題点

○ 「国民一人ひとりの悩み」を解決するために厚生労働省が目指すべき現状把握のビジョンは、個々の職員の現状把握のビジョンと合致しているのか

- 解決策

○ 政務三役の現状把握へのビジョンの明確化と、リーダーシップの発揮

○ 政務三役及び職員ひとり一人の現状把握のビジョンの合致と努力

○ 厚生労働省内の組織の活性化・一体感の向上

現状把握のビジョンのボトムアップと政務三役のビジョンのトップダウン

現状把握力向上のための機能の充実に向けて

- **現状把握力向上に必要な機能**

- 厚生労働省が組織として現状把握力を身につけ、習慣化させていくための戦略の企画立案・実行
- 個人学習・コミュニティー活動等を支援するための企画立案・実行
- 定量的・定性的分析のリテラシー・技術向上の企画立案・実行

- **スケジュール**

- 実務経験者等を交えての課題・実行可能な方策の精査、仮説検証のためのアンケートの実施（2ヶ月程度）
- 体制の検討・計画策定・実行準備（2ヶ月程度）

現状把握力の定義

- 厚生労働省像

「国民一人ひとりの悩みを共有し、解決に導く省」

政務三役のビジョン
厚生労働省のビジョン

悩みの抽出
(情報収集)

共有
(分析)

解決
(立案・実施)

検証
(政策評価)

- 現状把握力の定義

「適切なタイミングで国民の真のニーズを的確にとらえた政策の企画立案及び実行するために必要な現状把握に関する組織力」

提言

現状把握力は低いのか

職員一人一人の現状把握力の向上が図られていないのか

- ・ 個人が学習しやすい環境整備
- ・ 研修方法・研修内容の改善



現状把握力向上のための機能の充実



現状把握のための体制・ツール・組織が整備されていないのか

- ・ 情報・分析の量・質の充実化
- ・ 情報・分析の共有化
- ・ 定量分析・定性分析の充実化
- ・ 政務三役のビジョンと職員のビジョンの共有化

報告書との対応

政務三役のビジョン
厚生労働省のビジョン

悩みの抽出
(情報収集)

共有
(分析)

解決
(立案・実施)

検証
(政策評価)

報告書 1

報告書 2

報告書 3

報告書 4

報告書 4 - 2、4 - 3

報告書 4 - 1

報告書 5

厚生労働省若手プロジェクト

現状把握力強化

ひと、暮らし、みらいのために

Team E

ご清聴ありがとうございました